

『しがエネルギービジョン』(素案)概要 ～原発に依存しない新しいエネルギー社会の創造～

I. 策定にあたって

○エネルギーを巡る新たな状況変化に的確に対応しながら、「原発に依存しない新しいエネルギー社会」の構築に向けた長期的かつ総合的なエネルギー政策を推進するための指針を策定し、『滋賀県基本構想』の基本理念に掲げる「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」をエネルギーの分野から実現していく。

- 県民や事業者等が自主的、積極的に取り組むための指針
- 『滋賀県再生可能エネルギー振興戦略プラン』の改訂版

II. 長期ビジョン編

1. エネルギーを取り巻く社会情勢の変化(時代の潮流)

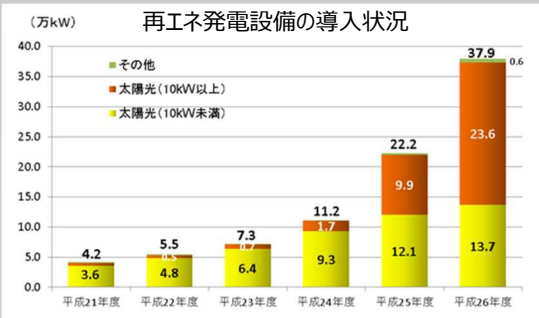
- (1)東日本大震災に伴うエネルギー問題
- (2)地球温暖化の進行
- (3)人口減少社会の到来

2. 我が国におけるエネルギーの現状

- (1)我が国におけるエネルギー事情
 - 需給動向、温室効果ガス、電気料金
- (2)我が国におけるエネルギー政策の動向
 - 基本計画、電源構成、FIT、電力自由化

3. 本県におけるエネルギーの現状

- #### 3-1. 全般的事項
- (1)エネルギー消費の動向
 - (2)原子力発電所の今後の推移
 - (3)温室効果ガス排出実態
 - (4)電気料金の動向
 - (5)エネルギーコストの流出
- #### 3-2. 個別事項
- (1)再生可能エネルギー(プラン、導入状況)
 - (2)省エネルギー・節電(産業、業務、家庭)
 - (3)革新的エネルギー高度利用技術(CGS等)
 - (4)エネルギー関連産業・技術開発



4. 滋賀の強み

①ともに地域を支え合う多彩な人、②未来を創造する技術やノウハウ、③誇りを高める歴史・文化、④滋賀の発展を支える地の利、⑤恵みをもたらす豊かな自然

5. 基本理念と目指す姿

- ### (1) 基本理念
- 基本理念** 『原発に依存しない新しいエネルギー社会の創造』
～地域主導によるエネルギーシフトに向けたローカル・イノベーション～
- 隣接する若狭地域に原発が集中立地
 - 県民、琵琶湖、山林を預かる本県
 - 既設原発の老朽化に伴う廃炉も想定
 - 東日本大震災に伴うエネルギー問題
 - 地球温暖化の進行
 - 人口減少社会の到来

現世代はもとより、将来世代も持続的に実感できる「新しい豊かさ」をエネルギーの分野から実現



- ### (2) 目指す姿
- ①ひと、②暮らし、③地域、④産業

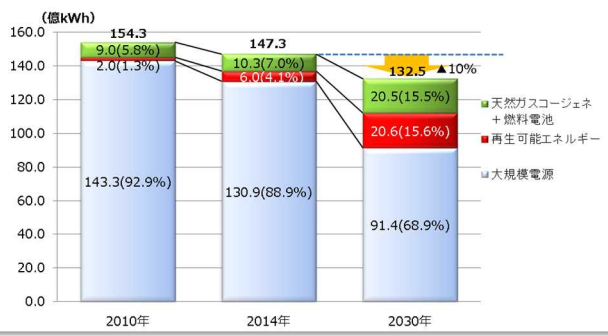
6. 基本方針・基本目標(2030年)

- ### (1) 基本方針
- エネルギーを『創る』(再エネ)
 - エネルギーを『減らす』(省エネ・節電)
 - エネルギーを『賢く使う』(効率的活用)
 - 『支える』(産業振興・技術開発)
- ### (2) 基本目標(2030年)
- 再生可能エネルギー 106万kW(再エネプラン) → 154万kW
 - 天然ガスコージェネ・燃料電池 40万kW
 - 電力消費量削減 ▲10%



(3) 電力供給量の内訳

分散型電源(31.1%) ※うち再エネ(15.6%)



III. 重点政策編

1. 重点プロジェクト

- (1)再生可能エネルギー総合推進プロジェクト
 - ・太陽光発電、再生可能エネルギー熱
- (2)小水力利用促進プロジェクト
 - ・農山村地域における小水力発電 等
- (3)バイオマス利用促進プロジェクト
 - ・木質バイオマスや廃棄物のエネルギー利用
- (4)エネルギー自治推進プロジェクト
 - ・防災拠点等のレジリエンス強化 等
- (5)省エネルギー・節電推進プロジェクト
 - ・省エネ型ライフスタイル、省エネ機器使用 等
- (6)分散型エネルギー推進プロジェクト
 - ・天然ガスコージェネ・燃料電池、次世代自動車
- (7)スマートコミュニティ推進プロジェクト
 - ・地域の実状に応じたスマートコミュニティ構築
- (8)産業振興・技術開発促進プロジェクト
 - ・産学官連携によるエネ関連技術開発 等

2. 導入目標(2020年)

3. 国に対する提言事項

IV. 推進にあたって

- (1)ロードマップ
- (2)推進体制・進行管理
- (3)各主体に期待される取組例